

7 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	石川	参加 メンバー	CL: 神戸、SL 杉本、 石川
		報告日	8/20		
山 域	北アルプス	山行日	2014 年 7 月 13 日 (日)		
山 名	白馬岳				

山行目的	北アルプス入門	コースタイム (天候: 天気図記号)
配布先	概念図 △ 白馬岳 2932m 頂上村営小屋 2720m 白馬尻小屋 1550m 猿倉荘 1230m 2000m 休憩 2.5 万分の 1 地図: 2 万 5 千地形図: 白馬岳	7/13 曇り後雨 4:00 飯森駅前発 4:30 猿倉荘 P 着 4:55 猿倉荘出発 5:55-6:00 白馬尻小屋一本 6:15-25 大雪溪前でアイゼン装着 7:20-25 (2000m 地点) 一本 7:55-8:10 大雪溪終了一本 8:45-9:00 小雪溪一本 9:05-15 通過 9:30-35 一本 10:15-35 村営頂上小屋一本 11:05 白馬岳頂上 11:35-12:15 村営頂上小
集会:12 山行: 1 リーダー 原紙: 集会担当者		屋一本 13:25-35 大雪溪前一本 14:30-45 猿倉荘出発後一本 15:00 白馬尻小屋通過 16:00 猿倉荘出発着 木崎湖温泉、食事 22:20 N1 駐車場解散

〈山行報告〉
猿倉荘出発、1 時間程度過ぎて雨が降り出し猿倉荘到着まで雨にたたられました。又、コースで迷う箇所もなし。大雪溪以外の山道も手入れされ初心者でも安心なコースと感じました。小生にとって雨は、昨年、10 月に八方池から唐松岳に 1 人で登った時も雨でしたが下り途中から晴れて来たこともあり、今回もきっと晴れると信じていましたが結局、雨でした。きっと、3 名の誰かが雨男がいると思いました。余談ですみません。凸凹コンビの 3 名で白馬岳を登ることが出来、大変、有意義な 1 日となりました。

- ・はじめての大雪溪の落石に注意。に挑戦出来たことやアイゼンを装着したこと。→足が重くなりましたが雪山には欠かせないアイテムと実感。(体力不足を痛感。)
- ・大雪溪の落石に注意。→雪の落石は、音がない。特に下りは、定期的に落石確認が大切。小生は、下り時、両ひざがガクガクになり確認の余裕がなかったが神戸・杉本さんがこまめにチェック。さすがに経験者で頼もしく感じました。
- ・大雪溪のルートと歩き方について指導されたこと。

→茶色ラインに沿って進む。前者の足跡に合わせて歩行すると足場が良い。安心感を実感。

- ・家に到着後、即、靴や、ストックを洗い、リュックの中身を見るとシュラフや着替えが濡れていたことに気付き、常にビニールなどで防水対策の必要性を感じました。次回に必ず反映いたします。



〈リーダー所見〉私も初心忘れるべからずという気持ちです。台風一過の晴天を期待しましたが予想以上に次の温暖前線が早くやって来ました。又の機会にご一緒したいですね。

確認 (リーダー)	袖 14/7/26 戸
作成 (報告者)	石 14/7/26 川